科目名	日常生活を支援する技術Ⅱ	対象学年・時期	1年・前期
講師	専任教員	単位数・時間数	1単位・30時間
講義概要	ディプロマポリシー3に基づく。看護は具体的な看護実践活動を通して果たされるものであり、看護の目標を達成するために看護技術があることを理解する必要がある。日常生活を支援する技術では、看護の対象となる個人が、最適な健康を踏まえた日常生活が営めるようにするために、援助の必要性を考え対象に合った方法を具体的に考える必要がある。看護の実践ができるようになるために、暮らしの中の動作がどのようなからだの仕組みによってなされているかを知り、科学的根拠を考えながら援助の必要性を理解し、方法を考えられるようにする。また、援助を受ける対象を観察し、対象の気持ちを考えながら援助を行う必要がある。 　ここでは人間の皮膚粘膜機能を高め、日常生活に爽快感、安楽、満足感を与えるためにも重要である「清潔」「衣生活」において、対象や場に応じた援助を根拠をに基づき実践できる知識、技術、態度を学ぶ。		
講義形態	講義、演習		
学習目標	１．解剖生理学的な人間の身体的機能に基づいた援助の根拠が理解できる。 ２．対象における援助の必要性が理解できる。 ３．対象を観察しながら援助を行うことができる。 ４．安全・安楽・自立を基本とした援助が実施できる。 ５．演習での患者体験や看護師体験を通して看護師として必要な態度を身につけることができる。		

学習内容（授業計画）	授業内容	事前学習
	１回目：人間にとっての清潔の意義、皮膚の構造と機能	＊皮膚の構造と機能（解剖生理ワークブック）
	２回目：入浴の目的・効果・方法　衣生活の意義	＊入浴のアンケート　温浴効果
	３回目：気づきの演習（清潔・衣生活援助）	
	４回目：部分浴の目的・足浴の目的・足浴デモストレーション	＊足の皮膚の特徴　足浴方法について
	５回目：足浴演習　まとめ	
	６回目：洗髪の目的　洗髪デモストレーション　演習	＊頭皮、頭髪の特徴　洗髪方法について
	７回目：洗髪演習	
	８回目：洗髪演習　まとめ	
	９回目：全身清拭・陰部洗浄デモストレーション　演習	＊汗腺・粘膜の構造と機能　陰部洗浄の方法について
	１０回目：全身清拭演習	
	１１回目：全身清拭演習	
	１２回目：口腔ケアデモストレーション　演習	＊口腔の構造と機能　口腔清拭の方法について
	１３回目：寝衣交換　寝衣交換デモストレーション	＊関節可動域について
	１４回目：寝衣交換演習	
	１５回目：終講試験	

使用テキスト	系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ，医学書院
事前学習・事後学習（学習を促進できる学修）	内容については「学習内容」を参照してください。 事前学習については、指定日まで各教員に提出してください。 放課後や休み時間を利用し、看護技術が習得できるまで積極的練習を行いましょう。
評価基準と評価方法	試験で評価する
備考	